

キャンプファイヤー



1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分でする	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
○			◎	◎	

2 概要



真っ暗な英彦山の中で炎を囲み、ゲーム・歌・ダンス・出し物などを通して連帯感や友情を深めます。楽しい思い出をつくりながら、研修のまとめや自己を見つめる機会となるでしょう。事前に参加者が内容やセリフを考えることで、効果が高まります。

3 対象及び活動形態

小学生～成人 200 名程度

4 活動の流れ(例)

準備	30 分
1 部	20 分
2 部	
3 部	15 分
片づけ	30 分

・薪組み、役割の確認、物品貸し出し
・リハーサル[17:00まで]

迎え火のつどい

交歓のつどい
(ゲーム、歌、ダンス、出し物 等)
内容は参加者で工夫しましょう。

送り火のつどい

消火(完全に!) 片づけ・清掃
※ 場合によっては、片づけ・清掃は翌朝行う。



井桁



トーチ

ポイント

セレモニーとして行う場合は、1・3 部は厳粛な雰囲気で行うように意識付けをしておきましょう。

迎え火・送り火の仕方はいろいろありますが、研修の目的に一番合った内容になるように工夫しましょう。

5 準備物

『青年の家』音響機器(マイク2本・CD ラジカセ・屋外アンプ)

『団体』トーチ、灯油(500ml 程度)、軍手、薪(食堂で注文可能)、燃えにくい服装(綿性)

6 キャンプファイヤー実施までにしておくこと・・・係の選出と台詞の決定・確認・練習

役割分担例(人数)	第1部	第3部
責任者(1):成人	司会の補助と安全管理を行う	
火の神(1):成人	はじめの言葉	静火・まとめの言葉
ファイヤーキーパー(2):成人	事前の井桁組みと実施時の火勢の保持及び安全管理をする	
音響(1):成人	プログラムに合わせて音響を担当する。	
司会(2)	プログラム全体の司会進行を行う	
火の守(最大8)	井桁への点火・誓いの言葉	
献詩(2)	詩の朗読	